

## 第3回岐阜県リニア中央新幹線活用戦略ブラッシュアップ懇談会 議事要旨

1. 日時：令和4年3月22日（火） 16：30～17：30
2. 場所：岐阜県庁4階 特別会議室
3. 出席者
  - (1) 委員  
涌井座長、青山委員、内田委員、上手委員、真田委員、田中委員、  
村瀬委員、森川委員
  - (2) 県  
知事、都市公園整備局長、都市公園整備局副局長、リニア推進室長、  
林政部次長、県土整備部次長、地域振興課長、観光企画課長
4. 議題
  - (1) 岐阜県リニア中央新幹線活用戦略ブラッシュアップについて
5. 議事要旨

### 〈提言書案〉

- ・ 提言書（案）は、これまでの議論が網羅的に整理されている。
- ・ 森のまちづくり構想を推進するにあたり、自分たちの理念をしっかりと持ったうえで、国費などの特定財源や民間活力の活用が必要。
- ・ リニア岐阜県駅の立地を鑑みれば、他の中間駅と比較して不利な状況と言わざるを得ず、相当個性を出す覚悟が必要。
- ・ 個性を出すにあたっては、例えば、徹底的に構造物などに木材を使用することや、農林業の関わりを前面に出すことなどが考えられる。

### 〈現戦略の実現に向け、重点的に展開する新たな施策〉

- ・ 駅や駅周辺のハード整備は、一度進めると後戻りができないため、変化要因や先行きを十分見据えることが重要。
- ・ 東濃地域の今後のイメージを先行して検討し、そのイメージの可視化によ

り、駅の整備イメージは、自ずと固まってくると思われる。

- ・スタートアップ企業から選ばれるには、「森やきれいな水がある」だけでなく、超スローな場所に、超スピードのリニアの開業が必要不可欠。
- ・スタートアップ企業へのアプローチは、IT産業だけでなく、農業をはじめとした第一次産業への意識も必要。
- ・乱開発防止のための規制を作るのは相当時間がかかるため、なるべく早く着手することが望ましい。

#### 〈活用戦略実現に向けた推進のあり方〉

- ・「重点的に展開する新たな施策」について、各施策の詳細な詰め方を明確にした方が良い。
- ・「活用戦略実現に向けた推進体制（WG）」について、テーマを絞るなど検討組織の持ち方を今一度検討した方が良い。
- ・推進体制には、行政の担当部局のみならず、懇談会委員も参画し、皆で議論できる場の確保が必要。